

第1回東大和ヒトみらいトーク当日の発言概要

参加者の質問・意見等及び市長等からの回答については以下の通りです。
 なお、表現等については、一部簡略化等を行っている場合がありますので
 ご了承ください。

(参加者からいただいた質問・意見等の項目)

- ①デジタル化 (DX)、②まちづくり、③教育、④防災、⑤公共施設、
 ⑥人口減少対策、⑦市民協働、⑧マネジメント

項目	質問・意見等 (要旨)	回答 (要旨)
デジタル化 (DX)	市では今後「東大和市DXプラン」を策定し、DXを推進するとしているが、具体的な推進体制(組織、インフラ、セキュリティ対策)はどのようなになっているのか。	【市長】 令和6年4月から組織体制を変更し、DXに関する取組を更に推進していく。また、インフラについては、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用することで、予定を前倒しして令和6年度から市内のデジタル化や市民の皆様が享受できるサービス(「行かない窓口」、「書かない窓口」)を導入する。また、LINEを活用し、市民の皆様の声を市政に活かす取組も開始する。
まちづくり	東京都と連携したまちづくりをお願いしたい。特にモノレールの延伸により、人の流れが大きく変わる。この中で、市のまちづくりのあり方を考えてほしい。	【市長】 現在、都市マスタープラン(市の都市づくりの指針となる計画)の改定に向け、これまで全体構想(素案)に関する説明会等を開催してきた。今後、地域別懇談会の開催を予定している。また、モノレール延伸については、上北台駅が始発・終点駅ではなくなるが、通り過ぎられるだけの駅にはしたくない。「狭山丘陵への玄関口」として位置付け、魅力的なエリアにしていきたい。
まちづくり	都市計画道路3・3・30号立川東大和線の村山貯水池方面への整備について、未来を見据えて複合的に構想してほしい。特に多摩湖周辺の所有地には、都職員用のテニスコートや噴水広場等があるので	【市長】 都市計画道路3・3・30号線の整備については、地元自治体として東京都に対し、必要な要望をしていきたい。 また、噴水広場については、知らなかったなので今度見てみたい。

	活用し、魅力的なまちづくりをしてほしい。	
まちづくり	空堀川沿いの遊歩道に公衆トイレがないため、設置してほしい。また、市内の公衆トイレを多目的トイレにしてほしい。	<p>【市長】 ご指摘の通路は東京都が所有している。公衆トイレの設置については、長年要望をいただいているところである。</p> <p>【副市長】 東京都の位置付けとしては管理用通路であるため、現状では公衆トイレの設置は難しい。一方で改修が完了する旧河川部分は緑道（地下は河川）になっており、令和6年度から市が管理することとなっている。将来的に都市計画公園として指定した後、公衆トイレを設置することを検討したい。</p>
まちづくり	下砂公園（第七小学校南側にある公園）付近の空堀川については現在整備中である。この公園区域は都市計画公園区域内であるため、河川整備と併せて公衆トイレを設置することができるのではないか。	<p>【副市長】 当該公園は都市計画公園ではあるが、整備するには至っていない。当該地に公衆トイレを設置する場合、用途地域等を踏まえる必要がある。そのため、今後改定する都市マスタープラン等の中で公園整備を検討していきたい。</p> <p>【市長】 公衆トイレの設置については、市として設置したいという思いはあるため、必要に応じて東京都へ要望するとともに、市が管理している土地への設置については検討していきたい。</p>
まちづくり	まちづくりを考える場合に東大和市はどのような地域特性なのかを考えながら進める必要がある。（意見）	
まちづくり	トイレマップ（公設だけでなく民設を含む）を作成してはどうか。民間事業者には協力事業者として認証シールを配布するのはどうか。（意見）	

<p>学校教育</p>	<p>小3の娘が不登校であり、行事や少人数制の授業にしか登校できない。送迎が必要となり、自身も仕事を退職した。不登校の児童の校内における居場所づくりや支援教室を各学校に設けてほしい。</p>	<p>【市長】 NHKにおいて、学校と家の中間に当たる場所があると良い旨の報道があった。各校により空き教室に差があることから、教育長と連携して考えていきたい。</p> <p>【教育長】 不登校は問題行動では無い。どの子にも平等に様々な体験をしてもらいたいと我々皆が願っており、進めていかなければならない。第一中学校では、学びの環境を提供する場として、小中学生と一緒に学習できるサポートルームを設置している。また、第五小学校と第三中学校にはそれぞれ校内に別室のサポートルームがある。これらは東京都の予算を活用しており、令和6年度にも複数校で設置予定である。学校に空き部屋があればサポートルームを設置できるが、同時にそこには教職員を配置しなければならない。人材の確保が課題であるが、教職員以外にも例えば補助的な役割としてボランティアを活用することも考えられる。</p>
<p>学校教育</p>	<p>不登校の児童・生徒にとっては、1時限目から規則的に登校する習慣を付けてもらうことが大事である。1時限目から別室に安全確保をしてくれる人を配置してほしい。</p>	<p>【教育長】 児童・生徒にとって生活リズムは大切である。自身がいた学校では、1時限目登校時に保健室の養護教諭の元で過ごし、その後、別室に行き午前中を過ごすといった例もある。まずは学校に相談してほしい。</p> <p>【市長】 佐賀県の武雄市では、地域の方に協力していただき、赤ペンボランティアを実施している。これは、子ども達のドリルを地域の方が丸付けをするものであり、地域で学校教育を支えている。当市でも全校でコミュニティ・スクールを進めているので、地域全体で支え合えたら良いと考えている。</p>

学校教育	3つの教育（①学校教育、②家庭教育、③街頭教育）のうち、先ほど市長から言及のあった③街頭教育を充実して欲しい。（意見）	
学校教育	第七小学校と第九小学校が統合することで通学時間が増える。夏の時期だけでも何らかの対策をお願いしたい。	【市長】 通学時の暑さ対策については、特に低学年の子ども向けに対策をしなければならないと感じている。日本一暑い埼玉県熊谷市では、通学する子どもに日傘を配布している。気候変動に応じた対策が必要である。また、別の取組となるが、第五小学校では、屋内プールがある民間事業者のもとへ児童をバスで送迎し、プールの授業をしている。「市長への手紙」には、これまで公園遊具設置に関するものが多かったが、最近では、屋内で遊べる場所を求める声が多いため、何かしらの対策が必要であると考えている。
防災	市の防災に対する考えについて伺いたい。	【市長】 地震が最近身近になってきている。昨日、私が市長に就任してから、小学校で初めての開催となる避難所体験訓練を実施した。第四小学校からの要望を受け、授業参観の時期に合わせて、普段は参加が難しい保護者も参加することができ、親子で防災意識の向上が図られた。 また、備蓄品については、毛布の買い替えのほか乳児用の液体ミルクを追加する等の拡充を図る。 また、自助を強化するための取組を実施していきたい。
公共施設	市民が気軽に集える場所が無い。狭山、清水地区には集える場所が少なく、狭山公民館では、洋室が争奪戦なのに対して和室が活用されていない。和室に絨毯を敷いて洋室に変える等	【市長】 和室の有効活用について、安価で対応できる方法としては、和室にタイルカーペットを敷く等、洋室に近づけることはできるかもしれない。せっかくの空き部屋が活用されないのは勿体ないため、速やかに対応したい。

	し、改善してほしい。シニアが集える場所を作してほしい。	
公共施設	第七小学校と第九小学校の統合により、第七小学校に芋窪集会所等も統合され、複合施設化されると聞いている。自治会にとって活動拠点の確保は重要であるが、跡地の活用についてはどのように考えているのか。	【市長】 公共施設の再編については、地域のバランスを考慮して再配置していくことを考えている。再編後に残った跡地については、必要に応じて売却する可能性もある。様々な組み合わせ、バランスを踏まえて考えていく必要がある。
公共施設	第七小学校と第九小学校の統合は、どのような計画になっているのか。	【市長】 学校の適正配置については、学識経験者等で構成された「東大和市立学校規模等適正化審議会」からの答申等を踏まえ、市で判断している。ただ、検討から時間が経過しているので、これまでの検討を踏まえながらも、時代の変化、ニーズに合わせて総合的に判断していきたい。
人口減少対策	人口減少抑制に対する取組とそれに対する策について伺う。その策を進めることは他の策との対立が考えられる。ここで言う対立とは、年代間の格差である。市の事業は、高齢者支援や子育て支援の充実等やるべきことは多岐に渡るが、全ての事業を万遍なく進めることは難しいと思う。そのため取捨選択をする必要もあると思うが、市長は何に注力していくつもりか。	【市長】 兵庫県明石市では、人口減少抑制対策として、子育て支援の充実に注力し、話題になった。その結果、明石市には子育て世帯が多く転入したが、一方で近隣自治体は人口が減少した。日本全体で見ると人口の奪い合いであり人口減少が抑制されていないことになるが、当市としては、子育てしやすい点はアピールしつつも、転入してくれた子育て世帯が、「子育てしやすいから、もう一人子どもを産みたい！」と思ってもらえるような支援をしていきたい。 また、世代間対立、格差の話があったが、対立するのではなく、高齢者と子育て世帯それぞれの良さや課題を共有することが大切である。様々な年代の方が活躍できる仕掛けづくりや環境づくりが行政の役割であり、地域でいきいきすれば健康寿命も延びるため、積極

		的に地域に参画してほしい。
市民協働	<p>本来、ボランティアは市が主導するものではなく、市民が主体的に行動するものである。市は、ボランティアやNPOの活動支援をすることが大事である。</p> <p>また、市の計画には「協働」という言葉がよく出てくるが、計画に載せる前に支援制度を確立することが必要である。</p>	<p>【市長】</p> <p>ボランティアに関する職員自体の認識が不足しているため、職員への意識付けが必要である。また、他自治体では、ボランティア等の提案事業に対して補助金を出す取組もあるので、研究していきたい。</p>
マネジメント（人材育成）	<p>職員のマネジメント体制を確立させるためには、業務を振り返りPDCAサイクルを回していくこと及び日報を書くことが大事である。（意見）</p>	

以上